

「健康サポート薬局の現状と未来」

座長:武藤 里志(前東邦大学薬学部)

篠原 悦子((一社)薬局共創未来人財育成機構)

シンポジスト:

健診・がん検診未受診者対策の取り組みと今後の展望

岡崎 光洋 (東京大学大学院薬学系研究科医薬政策学講座・(一社)スマートヘルスケア協会)

地域に密着した身近な健康相談所としての取り組みと今後の展望

新野香代子 ((株)ハッピーファーマシー)

地域包括支援センターとの取り組みを通して

皆方 肇 ((株)ファーマみらい 共創未来 仙台東口薬局)

広島県安芸高田市(保険者)と薬局が連携した糖尿病予防事業～特定健診結果とレセプトデータを活用した疾病介入予防～

江本 基樹((株)ホロン すずらん薬局大手町店)

調剤薬局チェーン日本調剤の健康サポート機能に関する現在の取り組みと今後の展望

井上 真喜子(日本調剤株式会社 薬剤本部 薬剤管理部)

2016年よりスタートした健康サポート薬局の制度により、これまでに全国で多くの研修(技能習得型研修)が開催され、現在では研修修了者は約20,000人に達すると推定されています。しかし、2019年1月時点での健康サポート薬局届け出数は1,220店舗(薬局総数約59,000店舗中)に過ぎず、研修修了者に比べ届け出数の増加が遅れている現状があります。そこで本シンポジウムでは、健康サポート薬局届け出後の活動事例や、問題点、将来への展望等を発表してもらい、健康サポート薬局がもたらすメリットを再確認するとともに、その一方で健康サポート薬局を開設できない要因についての議論も行い、これからの健康サポート薬局の発展に寄与できるシンポジウムにしたいと考えています。